

単語・文章の読み 小学部4年生の実践

髄膜炎由来の脳性麻痺

右股関節とその周辺の筋乖離手術のため、3ヶ月間の入院。

大人との日常会話を楽しむことができる。上肢は右に麻痺があり、主に左手で操作するが、教員からの声かけで右手も使おうとする。

奈良簡易チェックリスト高次化理論：水準Ⅵ通過・Ⅶへの芽生えあり

草習到達度チェックリスト2019：スコア60 「聞くこと話すこと」はスコア72への芽生えあり

1文字ずつ
読めるよ。

イラストを見て、単語を
構成している音を正しく
選ぶことができるよ。

文章を一文字ずつ読んで、
それに合ったイラストを選
ぶことができるよ。

国語の授業で平仮名の3～4文字の構成に取り組みました。

こっぴ？
びっこ？
にわとり？
にとわり？

何のイラストであるかは分かり、構成し
ている音を選んだり発音したりできま
す。それを正しく並べることはできま
せん。そして、好きな場所からはめてしま
います。

(1) 見ること

【眼球の運動】

追視・注視・輻輳

- ・注視 ○
- ・追視 上下より、左右（特に左）は非常に見づらそう。
- ・輻輳 目が寄らない。どちらかの目で見ている

文字を追ったり、操作をしたりするときかなり
困っていると思われる。

目だけでは追えなかった

(2) 空間の感覚

口頭指示のみで、積み木の前後・上下に
ぬいぐるみを置くことはできたが、左右は
できなかった

文字を並べたり、まとまりで読んだりするとき
に困られる。

【困っていること】

- ・ 見ること
- ・ 左右の識別
- ・ 空間の認知

アセスメント

読み

一字一音・モデリング・構音・記憶・
見えないものをイメージ 象徴化

書字

視知覚・形の認識・空間認知・手指
の巧緻性・細かな違いの気づき

文字は音をもつ
形・位置・空間を伴う意味のある記号

概念形成

意味理解

これらのことから、
教材教具を工夫して
学習を進めました。



川間弘子

『発達に遅れがある子どものための文字・文章の読み書き指導』より

左右の識別



正確ではないが、
「こっちが右」と
自分で確認をして
から取り組む姿が
見られるようにな
った。

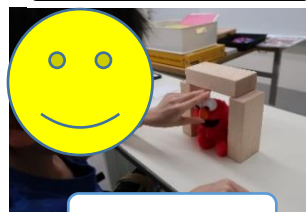
空間位置

カードと同じようにものを置く場合



見本があればできる

口頭指示でもものを置く場合



左右があいまい

円柱差し



はじめて取り組んだ時には、平面での上が分からなかった
が、1度行くと大小や長短を考えながら、左から右へ、上
から下へスムーズに差ししていくことができるようになった。



視線だけで線をたどる線迷路



空間位置パズル



洗濯ばさみ



ファスナー開閉



お楽しみの時間

さかなつり



回りながら開閉
する魚の口には糸
を垂らして釣る
ことができた。

お楽しみの時間
には、遊びながら
「見ること」
「空間位置の学
習」が取り入れ
られるような玩
具を選びまし
た。



★成果★

- 文字を認識するスピードが上がり、以前よりスムーズに文字を読むことができるようになってきた。
- 文字構成や読みを間違えた時にも自分で確認し、どこを間違えたのか分かるようになった。

